（2020.3.26 改定）

観光・英語専修

◆　卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

観光・英語専修は、文化創造学部の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を受け、次の能力を有することを重視し編成した本専攻の教育課程を修め、必要な卒業要件を満たした者を学位授与の適格者とする。

1　ホテルマネージメントコース・観光ビジネスコースでは、女性らしいホスピタリティを身につけた人格形成をする。

2　英語教育コースでは、英語に関する高度な専門性とコミュニケーション能力を備えた教員を育成する。

◆　教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

観光・英語専修は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を達成するため、特に、観光という視点と英語教育という視点から、専門科目、選択科目、資格取得に関する以下のカリキュラムを編成している。

1　教育課程の編成

(1)専門教育では、専門科目、選択科目、資格取得に関する科目の学修内容・学修目標を明確にして配置する。

(2)学外実習科目を系統的に配置し、観光業または英語教育に関わる学生の実践力の育成を図る。

2　教育内容の方法

(1)マネージメントコース・観光ビジネスコースでは、それぞれ、ホテルマネージメントと旅行業務に精通した観光スペシャリストの育成をするカリキュラムを編成している。

(2)英語教育コースでは、国際社会で通用するグローバルな視野を持った英語教員の育成するカリキュラムを編成している。

(3)各学年にアドバイザー教員を配置し、学生の学修・生活等についてきめ細やかな相談や助言を行う。

3　学修成果の評価

(1)学生の学修成果は、通常授業の評価に加えて、実習時の成果、長期休暇中の課題の成果を総合的に考察して、学生の学修指導を行う。

(2)2 年終了時には、進級に必要な科目の単位修得と卒業研究等の履修に必要な基礎学力の修得ができているかを評価し、進級の適否を判断する。
(3)卒業研究と全体的な学修について評価し、卒業の適否を判断する。

◆　入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

観光・英語専修は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を理解し、日本や世界の文化に興味を持ち、観光に関する専門的な知識を深め、また、英語のコミュニケーション能力を向上させ、観光産業や教育の世界で活躍したいという人材を求める。

1　女性らしいホスピタリティを身につけて観光業に将来携わりたい人。
2　専門性と英語によるコミュニケーション能力を備えた英語科教員を希望する人。